

鉄道のCO₂排出量は 自家用乗用車の約9分の1

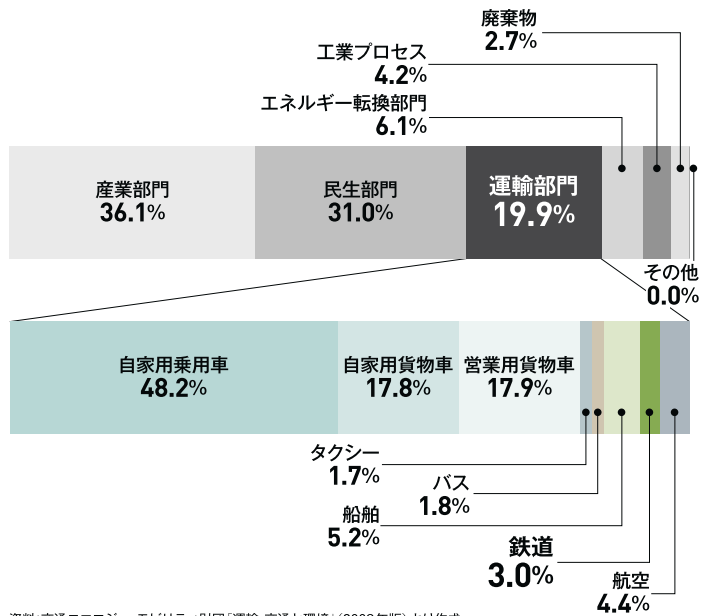
わが国全体のCO₂排出量の約2割は運輸部門が占めています。そのなかでも自家用乗用車のCO₂排出量が最も多く、運輸部門の48.2%にも達しています【図1】。ここで着目していただきたいのは、移動手段別の国内旅客輸送の割合【図2】では全体の28.2%を占める鉄道が、CO₂排出量では運輸部門のわずか3.0%であるということです（消費した電力量をCO₂の排出量に換算しています）。

これらのデータを基に、1人を1km運ぶために排出するCO₂の量を比較【図3】すると、鉄道は自家用乗用車の約9分の1にとどまっています。

このことから、鉄道が環境負荷の小さい移動手段であることが分かります。

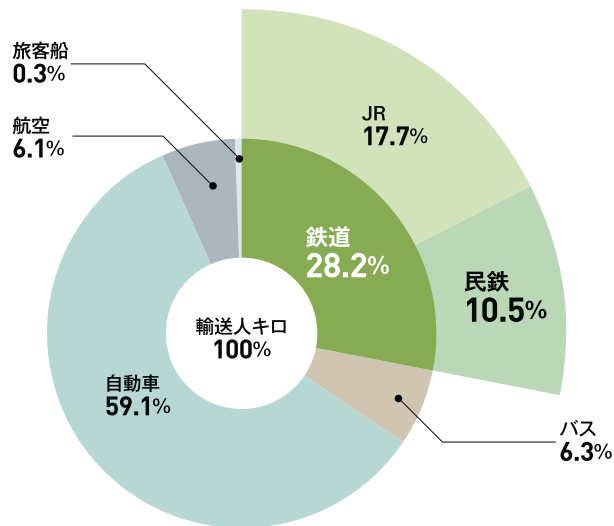
鉄道は環境負荷の小さい乗りものです

【図1】…国内の部門別CO₂排出割合および輸送機関別CO₂排出割合（2006年度）



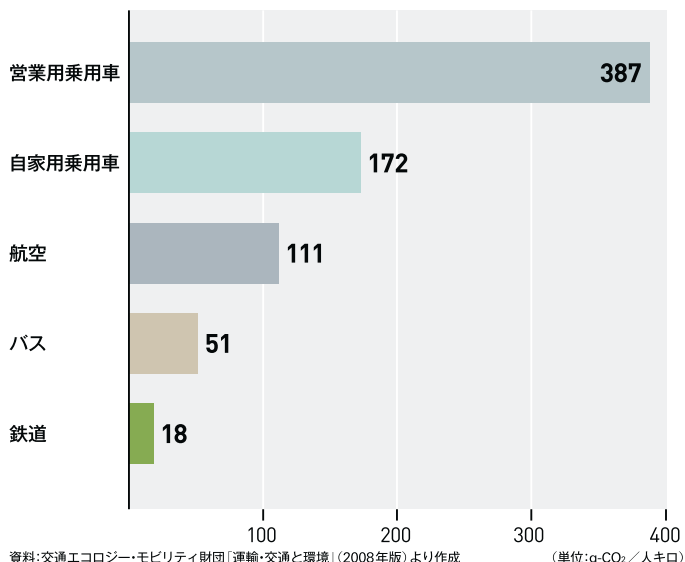
資料:交通エコロジー・モビリティ財団「運輸・交通と環境」(2008年版)より作成

【図2】…国内旅客輸送において鉄道が占める割合（2006年度）



資料:国土交通省「国土交通白書2008」より作成

【図3】…1人を1km運ぶのに排出するCO₂の比較（2006年度）



資料:交通エコロジー・モビリティ財団「運輸・交通と環境」(2008年版)より作成 (単位:g-CO₂/人キロ)

鉄道は環境負荷の小さい乗りものです